

TOPICS | 地雷対策への取り組み

内戦が終結し、復興に取り組む国々では、国土に残された地雷の除去が大きな課題になっています。日本政府は、各国の地雷対策に積極的に協力しています。

JICSは、カンボジア、アフガニスタンにおける地雷対策の無償資金協力の監理機関として、地雷除去関連機材の調達や研究活動を監理しています。



現地試験を行った地雷探知車両（左端）と地雷除去機（アフガニスタン）

復興に向けた地雷除去をサポート

地雷対策においてJICSは、1998年度の一般無償案件「カンボジア地雷除去活動支援機材整備計画」の調達監理を皮切りに、これまで6件の案件実施に関わってきました。

「カンボジア地雷除去活動支援機材整備計画」は、日本政府が対人地雷の除去活動を直接支援する初めての取り組みで、JICSはカンボジア政府の設立したカンボジア地雷活動センター（CMAC）の活動に必要な各種供与機材が、



来日し、開発メーカーから地雷除去機の説明を受けるアフガニスタン関係者

円滑に調達されるよう取り組みました。

また、研究支援無償案件「アフガニスタン地雷除去活動支援機材開発研究計画」において、JICSは進捗管理、

資金管理、開発された地雷除去機および探知機の現地での運用・性能試験等の実施管理を担当しました。本計画の成果はアフガニスタンの今後の地雷除去活動に活用されます。



「第3次地雷除去活動機材整備計画」での引渡し式では、納入機材の象徴として地雷探知機が小川大使（左）からフン・セン首相に手渡された（カンボジア）

カンボジア—地雷除去活動支援機材整備計画

- 供与額 15億9800万円(3期合計)
- 政府間合意日 1999年3月26日
2000年5月11日
2002年6月13日
- 目的 カンボジア地雷対策センター(Cambodian Mine Action Center, CMAC)の活動に必要な機材を調達する。
- JICSの役割 調達監理機関として、この計画の進捗管理(入札開催等含む)および資金管理を行う。
- 調達された主な機材
 - 1期 金属探知機、灌木除去機ほか
 - 2期 除去作業用テント、救急車ほか
 - 3期 灌木除去機、除去作業用防護服ほか



地雷除去活動に使用される灌木除去機(カンボジア)

アフガニスタン—地雷除去活動支援機材開発研究計画

- 供与額 6億4600万円
- 政府間合意日 2003年11月5日
- 目的 対人地雷に苦しむアフガニスタン国民のために現地の実情に即した地雷除去機、探知機を開発を支援するのを目的として、関連機材の調達、開発メーカー・研究機関が現地で行う試験などの費用を負担する。



雪の中で行われた耐爆試験の瞬間(アフガニスタン)

- JICSの役割 本計画の調達監理機関として、本計画の進捗管理、資金管理および以下の実施管理。
①本計画参加者の募集選考 ②参加者による現地調査 ③開発された地雷除去機および探知機の現地での運用・性能試験 ④開発結果の報告書の作成
- 計画の主な流れ
 - 2003年12月～3月 参加者の募集・選考
 - 2004年3月 探知機メーカー・研究機関による現地調査
 - 2004年6月 アフガニスタン関係者による日本での探知機の検収
 - 2004年7月～ 除去機メーカーによる現地試験開始
 - 2004年8月～ 探知機メーカーによる現地試験開始
 - 2005年2月 除去機、探知機 試験終了